農林水産省地理情報共通管理システム

現地確認アプリ

農地パトロール中の現地確認業務の実施方法

操作マニュアル　｜　第 1.00 版

農業
委員会

令和三年度

農林水産省

改版履歴

版数	改版契機	変更箇所	変更内容	日付
1.00	新規作成			2022/03/31

目次

改版履歴 i
1 はじめに 1
1.1 操作マニュアルの目的 2
1.2 利用する前の確認事項 2
2 現地確認アプリの起動とログイン 3
3 農地パトロール中の農地を調査する 7
3.1 HOME 画面 8
3.1.1 メインメニュー 9
3.1.2 地図機能メニュー 10
3.1.3 地図操作 11
3.1.4 ポリゴンの説明 13
3.2 パトロール中の農地調査を始める 14
3.2.1 地図上から農地を探す 14
3.2.2 調査対象の農地に移動する 15
3.2.3 農地調査と結果の登録 16
3.2.4 台帳から農地を探す 20
4 ログアウトする 26
4.1 ログアウト 27
4.1.1 現地確認アプリ 27
4.2 自動ログアウト 28
4.2.1 現地確認アプリ 28

1 はじめに

1.1　操作マニュアルの目的

この操作マニュアルは、農業委員会の業務において農地パトロール中の現地確認調査を行う方が、「eMAFF 現地確認アプリ」（以降、現地確認アプリと省略）を利用する際の操作マニュアルです。

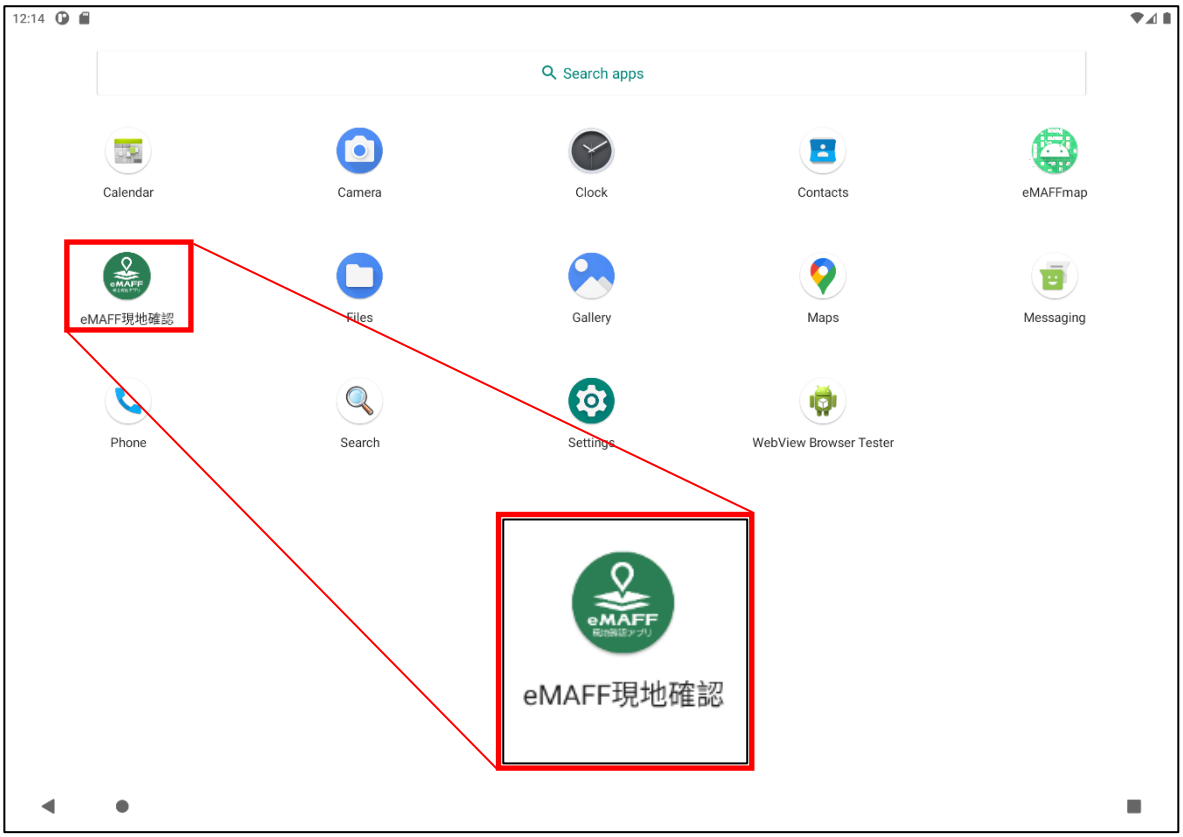
1.2　利用する前の確認事項

現地確認アプリを利用するには、専用のアカウントが必要となります。ご自身が所属する農業委員会事務局等より発行された eMAFF ID のアカウント情報が必要となりますので、ご自身の eMAFF ID のアカウントが不明の場合は、農業委員会事務局等にご連絡ください。

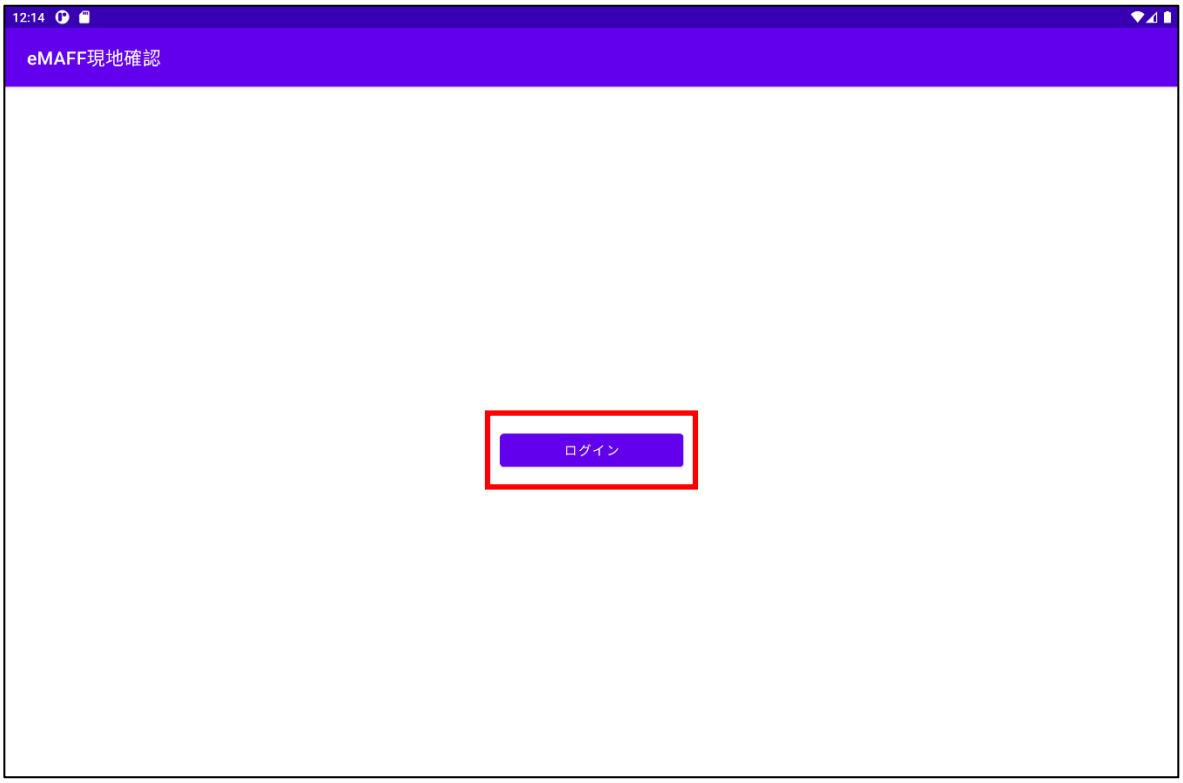
2 現地確認アプリの起動とログイン

現地確認アプリへログインする操作手順を説明します。現地確認アプリがインストールされたタブレット端末と、ご自身が利用する eMAFF ID のアカウント情報が必要ですので、準備をお願いします。

1　タブレット端末から現地確認アプリを選びます。



2　ログイン画面が表示されますので、「ログイン」ボタンを選びます。



3　「政府機関及び自治体職員等の方はこちら」を選びます。

4　「ログイン ID」、「パスワード」を入力してログインボタンを選びます。

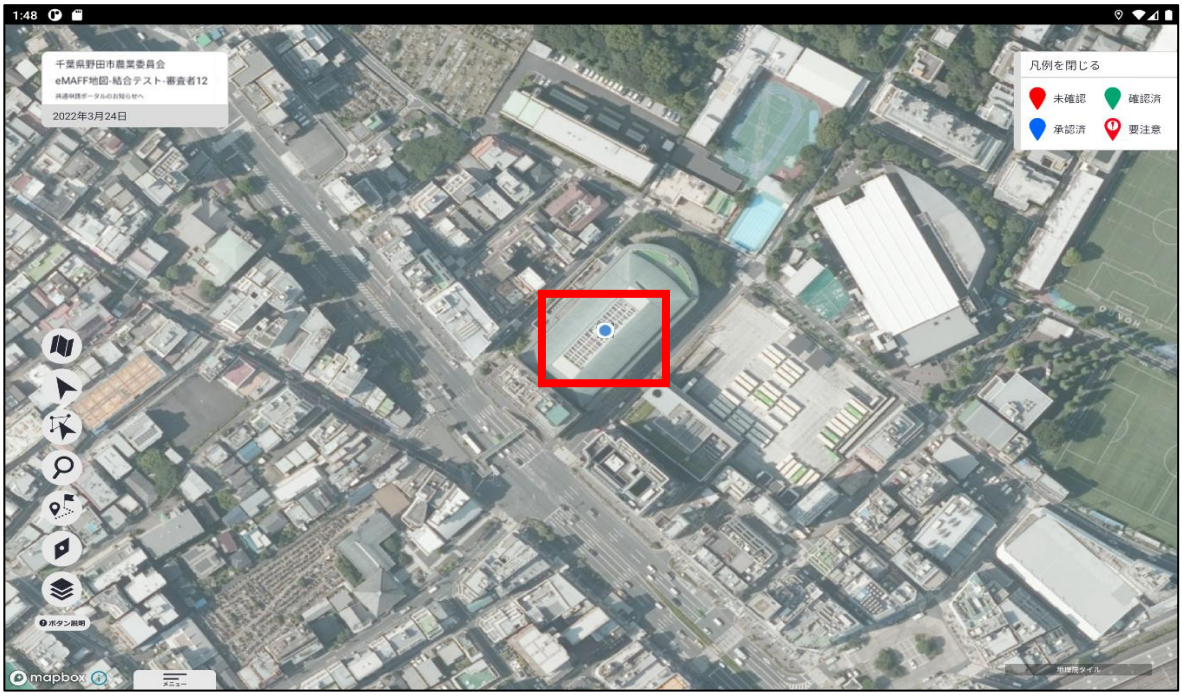
ログイン ID を入力します。

パスワードを入力します。

「ログイン ID」、「パスワード」を入力して「ログイン」ボタンを選択します。

5　二要素認証が実施されます。
現地確認アプリを利用する方の本人確認を行うため、アカウント情報とは別の認証が行われます。あらかじめ登録された認証方法で確認されます。詳細は eMAFF ID のマニュアルをご確認ください。

6　画面が表示され、現在位置にマークが表示されます。



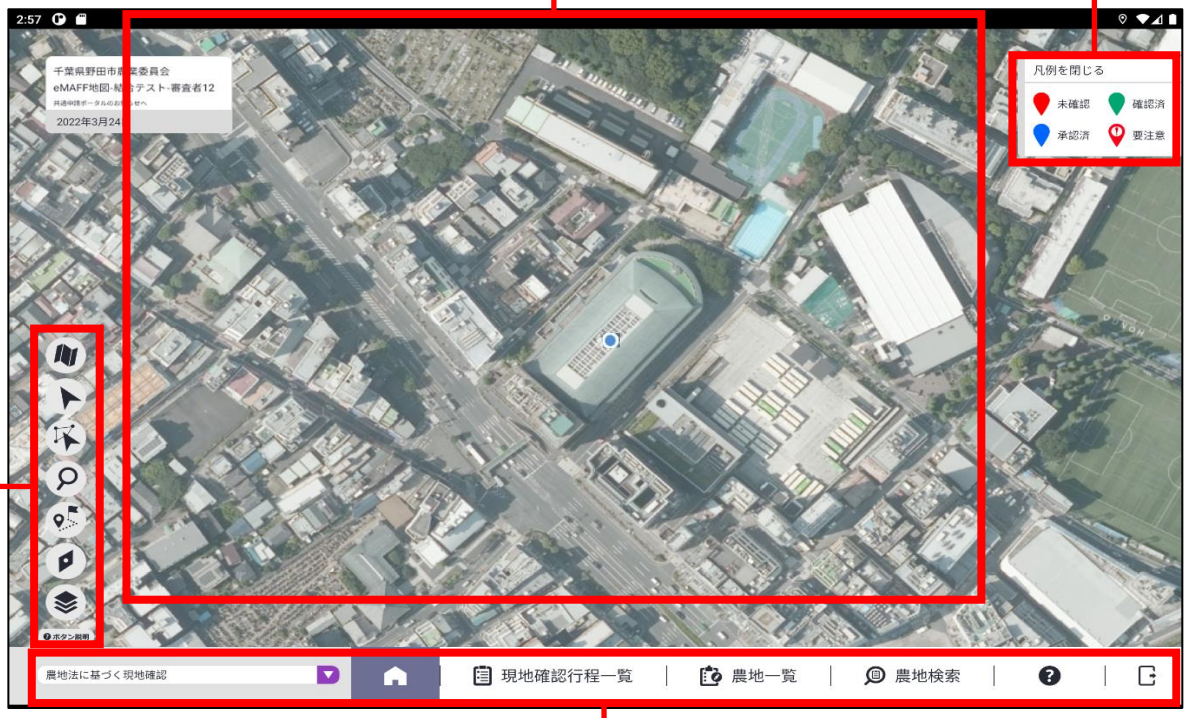
3 農地パトロール中の農地を調査する

3.1 HOME 画面

ここでは HOME 画面について説明します。

地図上での操作
→ 3.1.3　地図操作

凡例
→ 3.1.4　凡例の説明



地図の機能
→ 3.1.2　地図機能メニュー

利用状況調査の機能
→ 3.1.1 メインメニュー

メニュータブを選ぶと「メインメニュー」が表示されます。

3.1.1 メインメニュー

現地確認アプリのパトロール農地を調査するための機能を説明します。

3.1.2 地図機能メニュー

地図に関する機能について説明します。

背景地図切替ボタン
表示する背景地図の切り替えができます。

一括更新選択（個別選択）ボタン
農地を一つずつ選び、一括更新する事ができます。

一括更新選択（複数選択）ボタン
農地を図形で囲う事により、複数の農地を一括更新する事ができます。

現地確認対象農地検索ボタン
現地確認対象農地検索画面を表示します。

ルート検索ボタン
任意の位置を選択すると現在地から選択した位置までのルートを案内します。

現在地ボタン
現在地を中心にとした位置に地図を移動します。

レイヤー切替ボタン
レイヤー一覧画面を表示します。各種レイヤーの表示／非表示の切り替えができます。

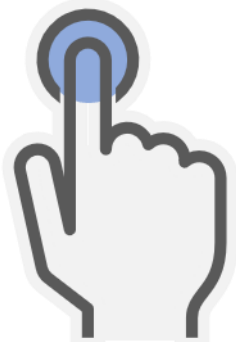
ボタン説明ボタン
各ボタンの説明画面を表示します。

3.1.3 地図操作

地図上で使用する基本的な指を使った操作方法について説明します。

(1) 選ぶ

選ぶ



人差し指で画面に触れ、
すぐに画面から
指を離します。

(2) 地図を拡大・縮小する

地図を拡大する

親指と人差し指で画面に
触れたまま、指を
広げるように操作します。

地図を縮小する

親指と人差し指で画面に
触れたまま、指を
近づけるように操作します。

(3)　地図を移動する

地図を右にスライド

人差し指を画面に
触れたまま、右にスライド
するように操作します。

地図を左にスライド

人差し指を画面に
触れたまま、左にスライド
するように操作します。

地図を上にスライド

人差し指を画面に
触れたまま、上にスライド
するように操作します。

地図を下にスライド

人差し指を画面に
触れたまま、下にスライド
するように操作します。

3.1.4 ポリゴンの説明

画面に表示されているポリゴンについて説明します。

ポリゴン：
地図上の土地に色が塗られているところはログイン者が調査可能な農地となります。

青色：
選択中の現地確認工程調査の対象ではない農地

3.2 パトロール中の農地調査を始める

農地調査を行う場合、地図上から農地を探す場合と台帳情報から農地を検索する場合の２通りの方法があります。ご都合の良い方法で調査が行えます。

3.2.1 地図上から農地を探す

1 台帳に登録されている農地を地図上から探します。対象となる農地は青枠で表示されています。

3.2.2 調査対象の農地に移動する

調査対象の農地までの移動経路を表示することができます。

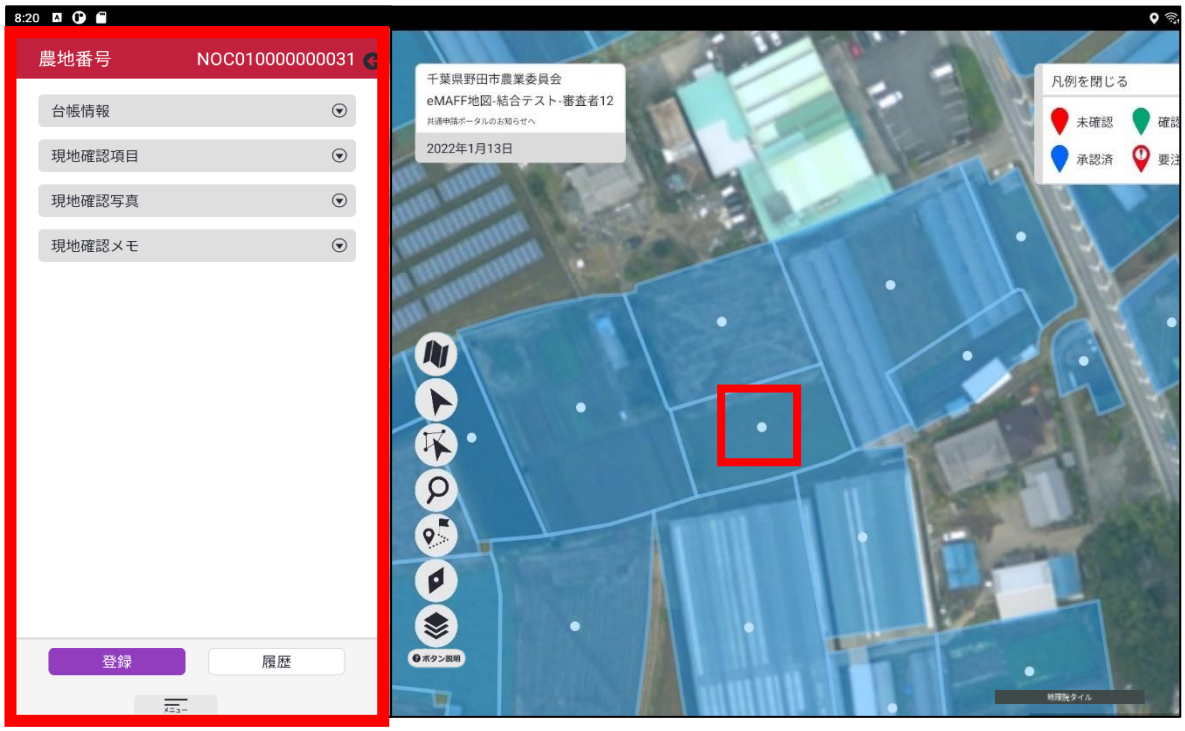
1 「地図機能メニュー」の「ルート検索ボタン」を選びます。
選ぶとボタンが反転表示されます。もう一度選ぶと元の表示に戻ります。

2 地図上の任意の位置を選ぶと、地図上にマーク（旗）が表示され現在位置からの経路が表示されます。

3.2.3 農地調査と結果の登録

調査した農地の確認した内容を登録します。

1　地図上から農地を選ぶ場合は、調査を行う農地の「●」を選ぶと、画面左側に調査項目などが表示されます。



調査項目	内容
台帳情報	現在登録されている農地台帳の情報を表示します。
現地確認項目	調査した農地の調査結果を入力する項目が表示されます。
現地確認写真	調査した農地を撮影し、調査結果として保存することができます。
現地確認メモ	調査した農地に関するメモを入力します。

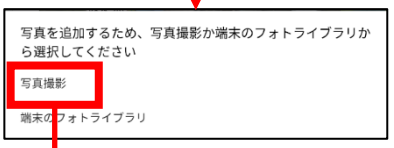
2　「台帳情報」を選ぶと、現在登録されている農地台帳の情報を確認できます。

3　「現地確認項目」を選ぶと、農地の調査結果を入力する項目が表示され、調査結果を入力できます。

「▽」を選ぶと選択リストが表示されるので、該当する内容を選びます。

4　「現地確認写真」を選ぶと、調査した農地を撮影し、調査結果として保存することができます。

カメラマークを選ぶとカメラのアプリが起動されるので、写真撮影を行います。



許可を求められた場合は、
「アプリの使用時のみ」を選びます。

撮影した写真が登録されます。
写真の右上の「×」ボタンを選ぶと写真の削除が行えます。

5　「現地確認メモ」を選ぶと、調査した農地に関するメモを入力できます。

① 空白の部分を選ぶと、キーボードで入力できます。
② マイクマークを選ぶと、アプリが起動し、音声で入力できます。

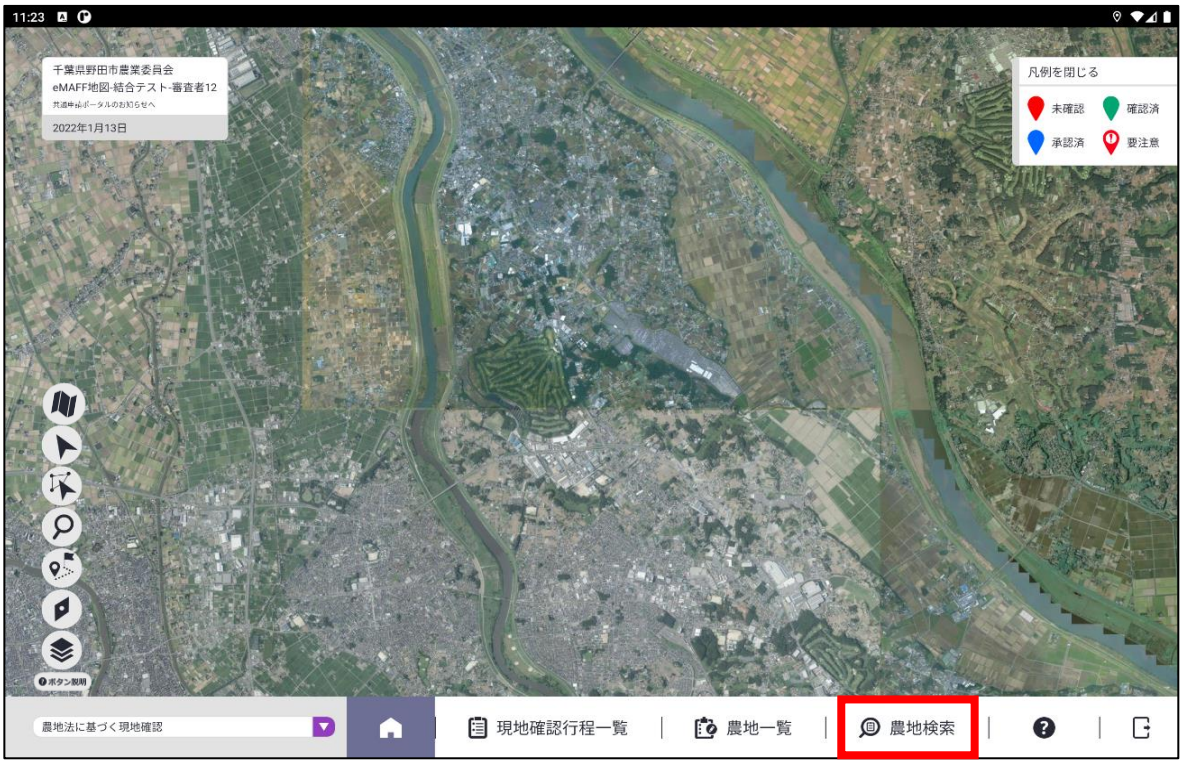
許可を求められた場合は、
「アプリの使用時のみ」を選びます。

6　「登録」ボタンを選んで、入力した情報を登録します。

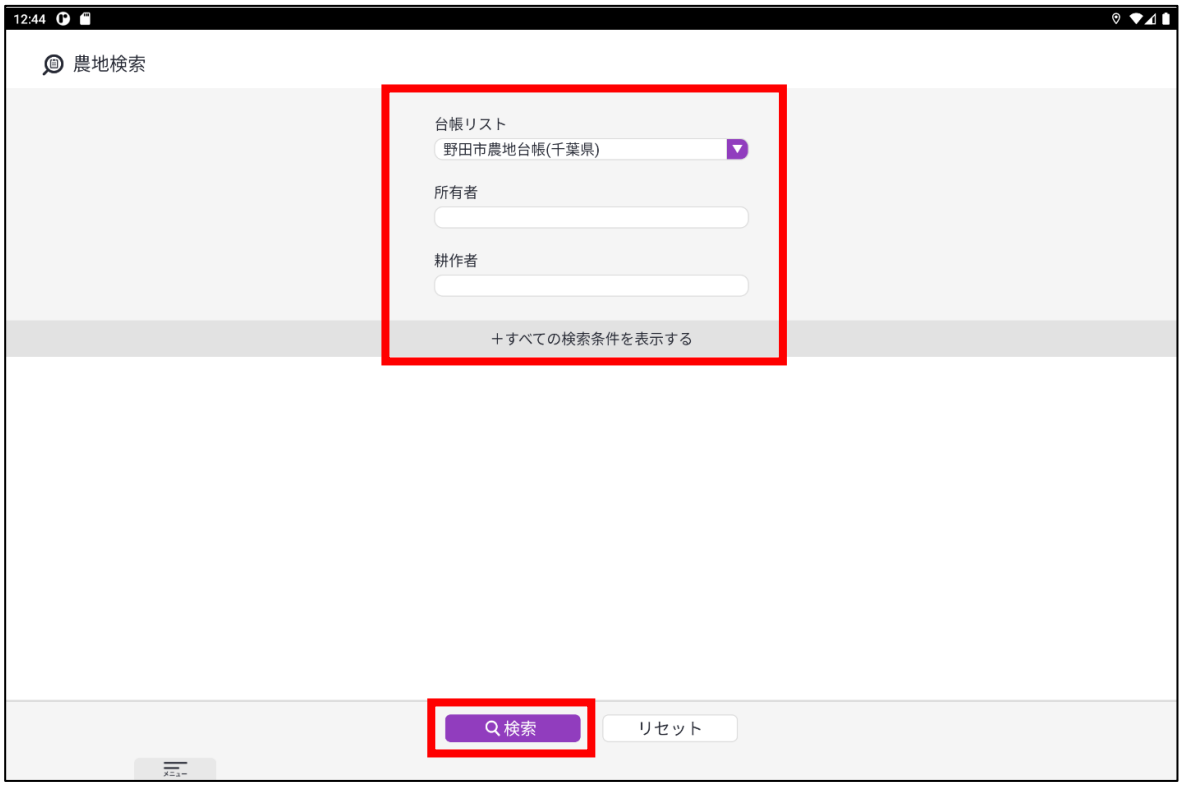
①「現地確認項目」
②「現地確認写真」
③「現地確認メモ」
の内容を入力し、「登録」ボタンを選んで、内容を登録します。

3.2.4 台帳から農地を探す

1 「メインメニュー」の「農地検索」を選んで、調査する農地を検索します。

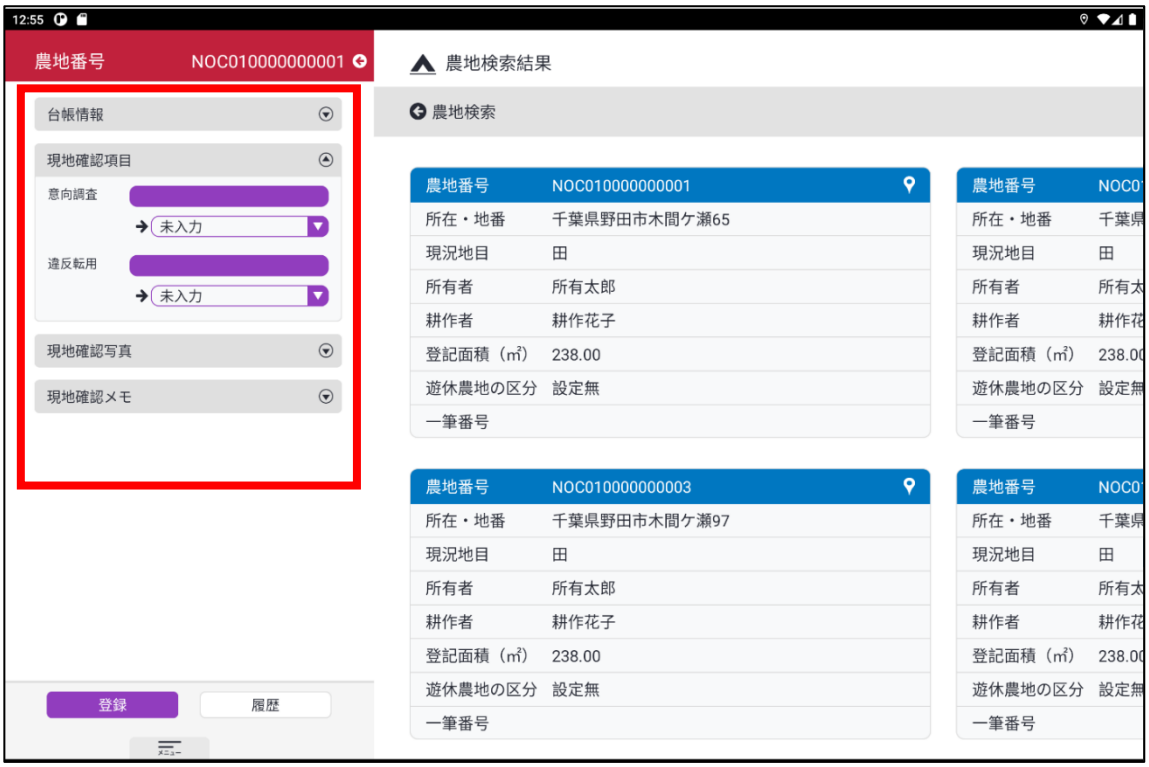


2 検索条件を入力して、「検索」ボタンを選びます。



3　検索された複数の農地から、調査対象の農地情報を選びます。

4　調査項目が表示されます。



調査項目	内容
台帳情報	現在登録されている農地台帳の情報を表示します。
現地確認項目	調査した農地の調査結果を入力する項目が表示されます。
現地確認写真	調査した農地を撮影し、調査結果として保存することができます。
現地確認メモ	調査した農地に関するメモを入力します。

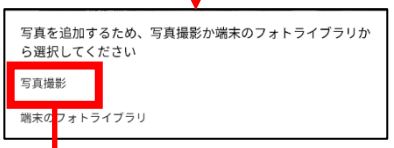
5　「台帳情報」を選ぶと、現在登録されている農地台帳の情報を確認できます。

6　「現地確認項目」を選ぶと、調査結果を入力する項目が表示され、調査結果を入力できます。

「▽」を選ぶと選択リストが表示されるので、該当する内容を選びます。

7　「現地確認写真」を選ぶと、調査した農地を撮影し、調査結果として保存することができます。

カメラマークを選ぶとカメラのアプリが起動されるので、写真撮影を行います。



許可を求められた場合は、
「アプリの使用時のみ」を選びます。

撮影した写真が登録されます。
写真の右上の「×」ボタンを選ぶと写真の削除が行えます。

8　「現地確認メモ」を選ぶと、調査した農地に関するメモを入力できます。

① 空白の部分を選ぶと、キーボードで入力できます。
② マイクマークを選ぶと、アプリが起動し、音声で入力できます。

許可を求められた場合は、
「アプリの使用時のみ」を選びます。

9　「登録」ボタンを選んで、入力した情報を登録します。

①「現地確認項目」
②「現地確認写真」
③「現地確認メモ」
の内容を入力し、「登録」ボタンを選んで、内容を登録します。

4 ログアウトする

　セキュリティ確保のため、業務終了時に、現地確認アプリのログアウトをお願いします。ログアウトすることで、万が一他者がタブレット端末を利用しても、現地確認アプリを再度ログインしないと利用することができなくなります。

4.1 ログアウト

4.1.1 現地確認アプリ

現地確認アプリのログアウト方法について説明します。

1 「メインメニュー」の右端にあるアイコンを選びます。

2 ログイン画面に戻ります。
この画面が表示されたらログアウトは完了し、現地確認アプリを利用する場合は、再度ログインが必要な状態になっています。

4.2 自動ログアウト

4.2.1 現地確認アプリ

現地確認アプリの画面を操作しない状態が 2 時間以上続くと、セキュリティ確保のため、自動的にログアウトされます。この際、更新を行っていない入力途中の情報は保存されません。